

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市民芸術文化ホール、堺市翁橋公園	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の更なる向上を図るとともに、魅力及び活力のある地域社会の形成並びに都市魅力の創造及び発信に資するため設置	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
平成28年10月1日から令和6年3月31日まで（7年6か月間） （平成28年10月1日から令和元年秋の開館までは準備期間）	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・貸館業務に係る事前受付やプレ事業、開館記念式典等への協力、備品購入への協力等開館準備に関すること ・貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること ・ホールなどを活用した文化振興事業を行うこと ・レストランの管理運営に関すること ・堺市翁橋公園の維持管理、活用等に関すること ・避難誘導訓練等を行い、緊急時の対応に備えること ・自主事業に係る業務に関すること 	
(7) 有料施設の有無	
有（利用料金制）	
(8) 公募・非公募の別	
<p>非公募</p> <p>（非公募の場合その理由）</p> <p>堺市民芸術文化ホールが本市の文化施策における中核を担う施設として、市民の文化力の向上及び魅力と活力のある地域社会の形成や都市魅力を創造・発信していくためには、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」やその指針を遵守し、公共ホールの使命を果たすことが重要である。</p> <p>当ホールの管理運営は、平成27年4月に施行した「自由都市堺文化芸術まちづくり条例」に基づく、文化振興によるまちづくりの観点や本市の文化振興施策との整合性を図る必要がある、当ホールが中枢文化施設として、長期の企画・準備期間を要する優れた舞台芸術や多彩な公演を開催することや専門人材の確保・育成の観点から長期的な視点が必要である。</p> <p>また、堺市翁橋公園は、緑豊かな憩いの場及び来館者を迎え入れるアプローチ空間として、ホールと一体的に整備し、管理運営することが、効率的・効果的な維持管理だけでなく、そのスペースを活用した様々なイベントを主体的に速やかに実施することができ、機能的で有意義な空間活用が可能となる。</p> <p>公益財団法人堺市文化振興財団は、本市の文化振興の推進母体として設立されて以来、市内文化団体や教育機関などと連携して普及啓発事業などを展開してきた実績があり、市と一体となって、公共ホールとしての使命を果たしつつ、実施する事業の質を担保できる。</p> <p>これらの点を踏まえ、採算性と公益性のバランスをとった運営が可能である公益財団法人堺市文化振興財団に随意指定するものである。</p>	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
兵庫県立芸術文化センター	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

令和元年10月にグランドオープンし、オープニング事業をはじめとする主催事業の開催、ホームページや情報誌作成といった広報業務、ホールの利用促進及びチケット販売拡大への営業活動などの業務を行った。

(2) 利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団
ア 利用者数 (人)				205,089	
利用者数の算出方法	文化芸術振興事業、自主事業、貸館事業等でフェニーチェ堺を利用した人数				
市による状況分析	開館初年度(10月から)であることと、新型コロナウイルス感染症の影響等により、目標に達することが出来なかった。				
イ 稼働率 (%)				50.3	
稼働率の算出方法	ホール及び諸室等における指定管理者主催事業や貸館事業等による稼働率				
市による状況分析	新型コロナウイルス感染症の影響等により、大・小ホール、大スタジオの目標80%に対して50.2%、その他諸室は目標65%に対して50.4%の稼働率となり、目標に達することができなかった。				
ウ 利用者満足度 (%)				96.8	
利用者満足度の測定方法	主催事業の入場者や貸館利用者3,083人からアンケートを回収し、5段階評価のうち3(普通)以上を満足として測定				
市による状況分析	公演時の誘導や接客対応、受付の対応等は評価できる。しかし、一方で情報不足により、利用者への対応が不適切であった事例もあるため、情報共有の徹底を行う必要がある。				

(3) 管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	16	19	25	37	36
イ 職員研修(回) ※令和元年度は予定回数	23	26	35	26	17
ウ 要望、苦情等(件)	5	21	11	2	—
エ 事件、事故等(件)	0	0	0	8	—
市による状況分析	新規採用者への研修や人権研修、舞台技術スタッフの研修等を実施している。また、令和元年度の開館に伴い、事件・事故等が発生しているが、運営上大きなトラブルもなく、安定的な運営を行っている。				

(4)収支状況(単位:円)

■指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料	46,400,000	98,000,000	182,108,421	765,588,821	549,276,000
	利用料金	0	0	0	29,595,305	134,670,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	496,720	420,250	17,100	234,002,759	191,807,000
合 計		46,896,720	98,420,250	182,125,521	1,029,186,885	875,753,000
イ 支出	人件費	19,120,423	51,330,332	92,514,991	164,148,127	156,400,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	1,627,616 (3.4%)	1,470,920 (1.6%)	9,538,860 (5.4%)	599,256,547 (61.7%)	433,428,000 (49.5%)
	修繕費	0	0	0	3,935,059	6,000,000
	光熱水費	337,858	984,633	4,198,247	53,349,193	86,647,000
	その他経費	26,309,250	39,934,383	69,930,890	151,118,977	193,278,000
合 計		47,395,147	93,720,268	176,182,908	971,807,903	875,753,000
利用者一人当たりの支出額					4,738	—

ウ 収支差額	-498,427	4,699,982	5,942,613	57,378,982	0
--------	----------	-----------	-----------	------------	---

エ 市への納付金の額	—	2,349,991	2,971,307	40,529,674	—
------------	---	-----------	-----------	------------	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額	—	—	—	—	—
-------------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	令和元年10月から開館し、これまで提供することが出来なかった優れた舞台芸術や多彩な公演を数多く開催したため、収入・支出ともに増加している。その中で、年度当初からの企画内容の見直しや、アーティストの出演契約料に係る関係者との具体的交渉、複数の公演を同じ媒体により広報するなど広報営業に係る経費を節約するなどして、単年度収支は黒字を確保している。
----------	---

■自主事業 (有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	—	—	—	4,864,790	7,680,000
イ 支出	—	—	—	2,161,936	3,058,000
ウ 収支差額	—	—	—	2,702,854	4,622,000
エ 市への納付金の額	—	—	—	0	0
オ 事業数(回)	—	—	—	—	—
カ 参加者数(人)	—	—	—	—	—

主な自主事業	自動販売機の設置 フェニーチェ堺オリジナルグッズ販売 等
--------	---------------------------------

市による状況分析	自動販売機の設置やフェニーチェ堺オリジナルグッズの販売により利用者サービスの向上に努めている。
----------	---

3 目標管理、評価等

(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	文化芸術振興事業の①オープニング事業②鑑賞事業③創造・発表事業④普及・育成事業⑤諸室等活用事業の年間公演回数⑥翁橋公園活用事業のうち賑わい創出事業	(設定理由)	市民文化の創造及び振興に寄与するための施設としての適正な管理運営の確保を評価する指標であると考えられるため。
	目標	①9回以上（大ホール6回以上、小ホールその他諸室3回以上） ②5回以上（大ホール3回以上、小ホール2回以上） ③1回以上 ④6回以上（大・小ホール、その他諸室等で3回以上、館外でのアウトリーチ等3回以上） ⑤3回以上 ⑥1回以上	(設定理由)	下記の項目を促進するために必要な事業本数を目標値に設定している。 一 優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供 二 堺らしい芸術文化を創造し都市魅力を発信 三 多様な芸術文化の交流・普及を促進
	実績	①65回（大ホール39回、小ホール26回） ②2回（大ホール1回、小ホール1回） ③1回 ④5回（大スタジオ等2回、アウトリーチ3回） ⑤4回（大スタジオ1回、多目的室1回、ガレリア等2回） ⑥1回	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析	①については大幅に公演数を増加させ、フェニーチェ堺のブランド形成に貢献している。しかし、②・④については、新型コロナウイルス感染症の影響等により目標に達しなかった。
			令和元年度	
		オープニング事業（回）	65	
		鑑賞事業（回）	2	
		創造・発表事業（回）	1	
		普及・育成事業（回）	5	
		諸室等活用事業（回）	4	
		翁橋公園活用事業のうち にぎわい創出事業（回）	1	

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	令和元年度の開館に伴い、事件・事故等が発生しているが、運営上大きなトラブルもなく、安定的な運営を行っている
---------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	大ホール及び小ホールにてオープニング事業公演等を多数実施し、施設の魅力や知名度の向上に寄与した。一方で、計画していた事業の一部が新型コロナウイルス感染症の影響等の理由で実施できなかった。	事業数では、新型コロナウイルス感染症の影響等により、2点目標値に達していない部分があるが、オープニング公演を華々しく行った結果、フェニーチェ堺の認知度向上に寄与した。		
対応策等	公演事業について、事業計画に沿って実施できるようスケジュール調整を効率的に行うとともに、計画に変更があった場合には代替事業の構築を速やかに行う。	目標値に達するようスケジュール調整等を綿密に行い、多彩な公演やアウトリーチ事業等について計画的に取り組またい。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	①利用者の満足度 ②利用者数 ③施設稼働率(大ホール、小ホール、大スタジオ) ④施設稼働率(その他諸室)	(設定理由) 施設の利用し易さ、又は施設で行う事業の魅力を反映しやすい指標として考えられるため。
	目標	①90%以上 ②17.9万人以上 ③80%以上 ④65%以上	(設定理由) 他文化会館の実績を参考に、良質な施設環境を提供し、高い利用満足度や利用者数等を維持するため。
	実績	①96.82% ②20.5万人 ③50.2% ④50.4%	(分析) 満足度においては達成できたが、新型コロナウイルスの影響等により、利用者数、施設稼働率は目標値に達することが出来なかった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

	令和元年度
利用者の満足度(%)	96.82
利用者数(万人)	20.5
施設稼働率(%) (大ホール、小ホール、大スタジオ)	50.2
施設稼働率(その他諸室)(%)	50.4

利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	特になし
--	------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	諸室のストッパーの不具合やホールの空調の効き具合等改善の声があがる一方で満足している利用者もいるため、今後も最善の方法を検討する必要がある。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	B	B	
	具体的な理由	貸館事業では、アンケートによる施設満足度は高い水準を誇った。新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率は振るわなかったが、その影響を除いても、やや目標に届かなかった。しかし、決して高い壁ではないことを認識した。	利用者の満足度について、高水準であることは評価できる。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響等により、稼働率が伸び悩んでいる。	
対応策等	貸館事業について、施設の知名度や魅力を市内外にアピールできるようホールセールを強化し、大ホールをはじめ、コンベンション利用の促進などを図る。	施設の知名度や魅力を多くの方に発信するため、集客率の高い公演や低価格で楽しめる公演等を展開し、普段足を運ばない市内外の方を呼びこみ、顧客獲得に努められたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金及び入場料収入	(設定理由) 指定管理者において営業努力が反映されやすい指標のひとつとして考えられるため。
	目標	324,368千円(貸館利用料金収入33,000千円、公演入場料収入291,368千円)	(設定理由) 他文化会館の実績を参考に目標値を設定している。
	実績	217,011千円(貸館利用料金収入29,595千円、公演入場料収入187,416千円)	(分析) 新型コロナウイルス感染症の影響により貸館のキャンセルが相次いだことから目標を達成することができなかった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

	令和元年度
利用料金及び入場料収入(千円)	217,011千円 (貸館利用料金収入29,595千円、 公演入場料収入187,416千円)

収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	特になし
------------------------------------	------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	通年事業における事業計画の変更や、新型コロナウイルス感染症の影響による貸館予約のキャンセルや公演事業の中止、延期により、収入は目標に届かなかった。しかし、アーティストの出演契約料の交渉や、複数の公演を同じ媒体により広報するなど広報営業に係る経費を節約したことで、指定管理業務全体では約57,378千円の黒字となり、収支バランスを保った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館収入の大幅な減少や事業の延期・中止が発生し、目標数値に達することが出来なかったが、指定管理業務全体では一定の黒字となり、収支バランスを保っている。		
対応策等	上記記載のとおり、スケジュール感をもって公演事業に臨むとともに、ホールセールスの強化やコンベンション利用の促進などを図ることで貸館稼働率を増加させ、収入目標を達成する。	音楽や舞台などの多彩な公演や、様々なジャンルの事業といった文化芸術に触れる機会の充実を図ることにより、これまで来堺したことがないような若年層等が堺を訪れる機会を創出し、利用料金収入および入場料収入の増加をめざされたい。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの